

別記様式（第3条関係）

事務事業評価調査書（26年度）

No.	17		作成日	平成26年10月3日	
総合計画	章	1	住みよいまちづくり	年度	平成25年度
	項	4	まちの将来を担う人づくり	課等名及び係名	学校教育課学校教育係
	節	1	豊かな人間性を育む学校教育の充実	記入者職氏名	主事 我妻 美奈子

【事務事業の概要】

I 事務事業の内容

実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
事務事業名	遠距離通学費補助事業（小学校）			
事業概要	対象	バス通学児童定期券代		
	目的	路線バスを利用することで、通学の安全を図る。		
	実施内容	路線バス運賃（定期代）の補助		

II 予算区分及び過疎計画における区分

予算区分	会計名	一般会計		過疎計画	施策区分	教育の振興
	款	09	教育費		事業名 （施策名）	小・中学校遠距離通学費 補助金
	項	02	小学校費			
	目	02	教育振興費			
	事業名	遠距離通学費		根拠法令	遠距離通学費補助金交付規則	

【事務事業の実施状況】

III 事業費の推移及び終期

年度	事業費（決算・予算）	財源内訳（単位：千円）				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22年度実績	7,303	489				6,814
23年度実績	7,164	481				6,683
24年度実績	6,927	332				6,595
25年度実績	4,757	327				4,430
26年度当初	5,478	397				5,081

特定財源の種類	国支出金		県支出金		その他	
	名称	補助率	名称	補助率	名称	補助率
25年度分						

IV 執行状況

執行状況	推進中	完了	新規
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
状況説明	学校統廃合等の理由で、自宅から小学校へ片道2km以上通学する児童に対して、安全な通学方法として公共交通機関の路線バスを推奨し、利用運賃（定期代金）を補助している。		

V 問題点の概要

問題点	片道2km以上の通学であっても、路線バスが無い地域に住む児童も多い。そのため、スクールバスを運行して問題解消を図る。
-----	--

VI 成果指標

成果指標名	単位	25年度		26年度		27年度		28年度		対28年度 目標達成率
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
定期代補助者数	人	145	145		153		153		153	94.8%
指標に表われない効果	近年、通学時における児童の交通事故が全国的な問題となっているが、大子町においては、その交通事故が発生していない。									

【事務事業の評価】

◎一次評価（担当課においての評価）

I 評価基準ごとの評価

	評価基準	評価	評価理由
目的妥当性	○目的が総合計画や国の計画の政策体系に結びついているか。 ○対象・意図を見直す余地はあるか。 ○町が実施又は関与すべき目的であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 妥当でない	児童の安心安全な通学は、義務教育の基礎である。
有効性	○成果向上の余地があるか。 ○同じ目的を持つ他の事務事業があるか。 ○目的が達成されたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 有効でない	通学時における児童の交通事故が無い。
効率性	○成果を低下させずにコストを削減することは可能か。 ○コストを圧迫している、又は増大させている要因はあるか。 ○他の事務事業との統合は可能か。	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 効率的でない	スクールバス運行と比較すると、より経費が抑制される。また、公共交通機関活性化の面を併せ持つ。
公平性	○サービスの受益者が一部に偏っていないか。 ○負担者（納税者）の理解は得られているか。	<input type="checkbox"/> 公平である <input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 公平でない	限られた路線のため、公平とは言い難い。

II 総合評価

今後の方向性	2
※今後の方向性について、次の項目から選択してください。	
1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する
2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止
3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了
4 見直し（実施規模を縮小する）	
【総合評価】※理由、具体策及び今後の課題等を記入してください。 児童の安心安全な通学は、義務教育の基礎である。 また、総合的な公共交通体系の活性化を併せ持つ有効な事業である。	
【所属長意見】	
学校の統廃合等による遠距離通学や、単身・少人数による通学が余儀なくされている現状において、登下校時の安全を確保する上で必要な事業である。	

◎二次評価（事務事業評価委員会による評価）

今後の方向性	2								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 継続（事業規模を拡充する）</td> <td>5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続（現行どおり）</td> <td>6 休止又は廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し（実施規模を縮小する）</td> <td></td> </tr> </table>		1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する	2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止	3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了	4 見直し（実施規模を縮小する）	
1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する								
2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止								
3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了								
4 見直し（実施規模を縮小する）									
<p>【具体的内容】</p> <p>一次評価のとおり、引き続き事業に取り組むこと。</p>									
<p>【備考】</p>									